

The 7th Annual Meeting of the Japanese Society of Allergology
Tohoku Regional Association

第7回日本アレルギー学会東北地方会

秋田初開催記念：医学生・コメディカル・研修医無料

会期：2025年11月30日（日）

会場：にぎわい交流会館AU

〒010-0001 秋田県秋田市中通1-4-1

会長：山田武千代（秋田大学大学院・耳鼻咽喉科頭頸部外科・教授）

プログラム・抄録集

演題募集期間：2025年8月8日（金）～ 8月29日（金）

学会WEBサイト：<https://jsa-tohoku7.com>

Mail：jsa.tohoku7@c-works.co.jp



学会事務局：秋田大学
耳鼻咽喉科・頭頸部外科
〒010-8543 秋田県秋田市本道1-1-1
E-Mail：akitaorl@med.akita-u.ac.jp

運営事務局：
シー・ワークス合同会社 秋田営業所
〒018-1302 秋田県由利本荘市岩城勝手字烏ヶ森25-181
E-Mail：jsa.tohoku7@c-works.co.jp

日本アレルギー学会東北支部主催

第 7 回 日本アレルギー学会東北地方会 プログラム・抄録集

会 長

秋田大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座 教授

山田 武千代

■一般演題	一般演題Ⅰ	9時50分～10時10分
	一般演題Ⅱ	10時15分～10時35分
	一般演題Ⅲ	11時35分～11時55分
	一般演題Ⅳ	13時30分～14時10分
	一般演題Ⅴ	14時40分～15時20分

■教育講演	教育講演Ⅰ	13時05分～13時30分
	教育講演Ⅱ	14時15分～14時40分

■教育セミナー	教育セミナー1	9時00分～9時45分
	教育セミナー2	12時00分～13時00分
	教育セミナー3	15時25分～16時25分

■特別講演	10時40分～11時30分
-------	---------------

■日 時： 2025年11月30日(日) 9時00分～17時00分

■会 場： 秋田市にぎわい交流館AU
〒010-0001 秋田県秋田市中通1-4-1

■参 加 費： 1,000円(当日受付でお支払ください)
※医学生・看護学生・コメディカル・初期研修医は無料

地方会事務局

秋田大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科講座 内
第7回日本アレルギー学会東北地方会 事務局

〒010-8543 秋田県秋田市本道1丁目1番1号

TEL:018-884-6171 / FAX:018-836-2622

演者の方へのお知らせ

■ 一般演題発表について

1. 一般演題発表時間 7 分 討論時間 3 分

口演中は「緑色ランプ」が点灯、1 分前に「黄色ランプ」、終了時に「赤色ランプ」が点滅しますので時間厳守をお願いいたします。

2. 発表はコンピュータープレゼンテーションで下記の条件でご準備をお願いします。

1) 発表用データは、発表の 30 分前までに PC 受付にお持ちください。

2) Windows では文字化け防止のため、次のフォントのご使用をお願いします。

【日本語】MS ゴシック、MS 明朝、MSP ゴシック、MSP 明朝

【英語】Century、Century Gothic、Arial、Times New Roman、Symbol

※動画、アニメーション、音声の使用はお断りします。

USBメモリによるデータ受付について

- ・学会で用意している発表用 PC は Windows11 となります。
- ・プレゼンテーションソフトは Microsoft PowerPoint となります。
- ・円滑な進行のため、発表者ツールの使用はご遠慮ください。

PCをお持ち込みされる場合について

- ・Macintosh については、各自 PC の持ち込みといたします。
- ・電源アダプターおよび HDMI 変換ケーブルも忘れずにお持ちください
- ・ウイルス対策は事前に十分に行っていただけますようお願いいたします。
- ・スクリーンセーバーならびに省電力設定は予め解除をお願いいたします。
- ・会場に用意しているプロジェクターと接続できない場合に備え、バックアップ用のデータをご持参ください。

■ 利益相反 (COI) の開示について

1. 筆頭発表者はスライドの最初（または演題・発表者など紹介スライドの次など）に、本会の演題発表に関連する COI 状態の開示をお願いいたします。

申告様式についてはホームページよりダウンロードが可能です。

※詳細は日本アレルギー学会ホームページ内（下記URL）「利益相反 (COI) 指針」をご覧ください。

(https://www.jsaweb.jp/modules/about/index.php?content_id=69)

座長の方へのお知らせ

■ 発表時間について

- ・一般演題発表時間7分 討論時間3分
- ・教育講演講演時間25分
- ・教育セミナーⅠ講演時間45分、教育セミナーⅡ講演時間60分、教育セミナーⅢ60分
- ・特別講演講演時間50分

口演中は緑色ランプが点灯、1分前に黄色ランプ、終了時に赤色ランプが点灯しますので時間を厳守してください。

● 下記項目について、ご注意ください

- ・担当セッション開始の15分前までに会場へお越しいただき受付を行ってください。
- ・担当セッション開始の10分前までに会場内次座長席にお座りください。
- ・セッション時間は厳守となります。時間内に終了できるようご協力をお願いいたします。
- ・単位が必要な方は参加登録をお願い致します。

会場案内

● 会場へのアクセス ●



- ・JR秋田駅から会場まで徒歩7分、タクシーで3分
- ・空港リムジンバスで秋田空港から会場近くの木内前（バス停）まで約40分

■ お車でお越しの場合

学術集会会場には隣接する立体駐輪場（なかいち駐車場）がございます。

収容台数507台、24時間営業の自走式立体駐車場です。

学会会場とは渡り廊下（2F）で繋がっております。

学術集会参加者に対して、駐車料金を無料化する措置はございません。

秋田駅前となる会場周辺は一方通行となっておりますので、立体駐車場入り口をお間違えの無いようにお気をつけてお越しください。

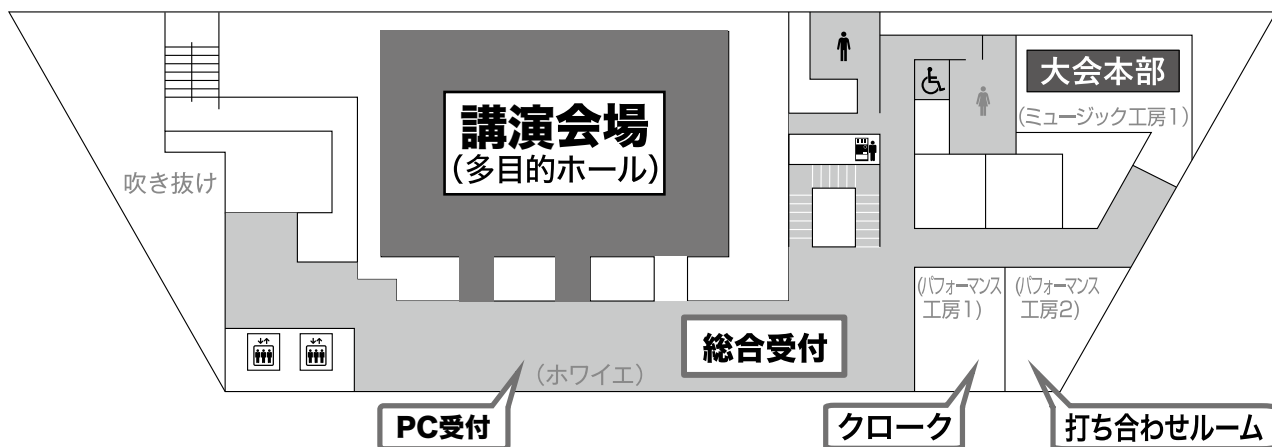
なかいち駐車場 基本料金

基本料金	30分まで無料 1時間につき 100円 ＊利用時間に1時間に満たない端数がある場合は1時間に切り上げます
夜間駐車料金 (当日16時から翌日10時まで)	最大 500円 (利用時間が5時間未満の場合は1時間につき 100円) ＊夜間料金時間帯前後に入出庫した部分の料金は1時間につき 100円を加算します
営業時間	24時間

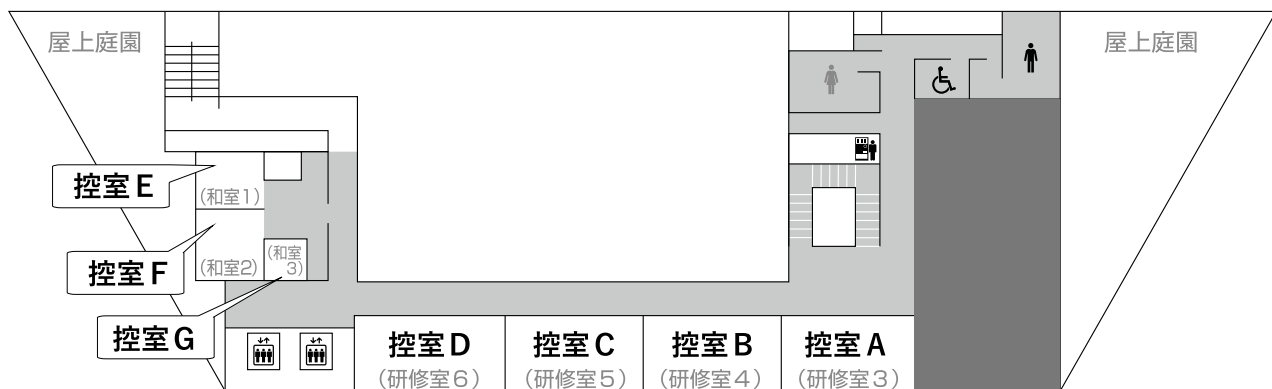
● フロア図 ●

秋田市にぎわい交流館 AU (あう)

3F



4F



参加者へのご案内

会期

日時) 2025年11月30日(日) 9時00分～17時00分
会場) 秋田市にぎわい交流館AU
〒010-0001 秋田県秋田市中通1-4-1
※本会は実会場開催のみです。(ハイブリッドでは行いません)

感染症対策に関するお願い

- ・当日、体調の悪い方は参加をご遠慮ください。
- ・会場内では可能な限り、マスク着用をお願いいたします。
- ・手指消毒・手洗い・咳エチケットの励行、3密の回避（特に参加受付周辺、会場内、パブリックスペース）についてご協力をお願いいたします。

参加受付

受付場所) 秋田市にぎわい交流館AU 3階 ホワイエ
受付開始時間) 8時30分～
スライド受付) 発表時刻の30分前までに受付にお越しください
座長受付) 担当セッション開始の15分前までに受付にお越しください

参加登録について

当日会場受付にてお願いいたします。※事前参加登録はありません。

【参加費】会員：1,000円、非会員：2,000円

▽医学生・看護学生・コメディカル・初期研修医無料。（大学院生は参加費をお支払いください）

▽お支払いは**現金のみ**です。

※1：学生証または証明書をご提示ください

※2：釣銭が出ないようにご用意ください

参加証・領収書について

当日、参加登録および参加費をお支払いいただいた際にお渡しいたします。

■ 認定更新単位登録と取得できる単位数について

会場受付にて参加受講証をお受け取りください。

受講証を各申請機関へ提出し、各自で単位登録の手続きをお願いいたします。

【取得できる単位数について】

第7回日本アレルギー学会東北地方会において取得可能な単位は以下のとおりです。

会場受付にて参加受講証をお受け取りください。受講証を各申請機関へ提出し、各自で単位登録の手続きをお願いいたします。

1) アレルギー学会専門医

▽発表(筆頭)、座長・講師：**3単位**

▽出席：**5単位**

(問い合わせ先)

〒100-0005 東京都台東区上野1-13-3 MYビル4階

一般社団法人 日本アレルギー学会

TEL: 03-5807-1701 FAX: 03-5807-1702

E-mail: info[at]jsaweb.jp (※送付の際は「at」を@にして送付ください)

HP: <https://www.jsaweb.jp/>

2) 日本小児臨床アレルギー学会認定 小児アレルギーエデュケーター単位

▽参加：**5単位**

(問い合わせ先)

〒183-0023 東京都府中市宮町1-24-8キャッスル町田202

一般社団法人 日本小児臨床アレルギー学会 事務局

TEL: 042-370-1797 FAX: 050-3153-0675

E-mail: info[at]spca.jp (※送付の際は「at」を@にして送付ください)

HP: <http://jspca.kenkyuukai.jp/information/>

第 7 回日本アレルギー学会東北地方会日程表 (多目的ホール)

時間	プログラム
8:30～	受付開始
8:50～	開会式 会長挨拶
9:00～9:45	教育セミナー 1 司会：中山 勝敏 (秋田大学) 演者：糸賀 正道 (弘前大学) 共催：アストラゼネカ株式会社
9:45～9:55	東北6県のアレルギーに関する①秋田県の活動報告
9:55～10:15	一般演題 I 座長：竹田 正秀 (秋田大学)
10:20～11:10	特別講演 小児アトピー性皮膚炎と食物アレルギー 司会：三浦 克志 (宮城県立こども病院) 演者：伊藤 浩明 (あいち小児保健医療総合センター)
11:15～11:35	一般演題 II 座長：佐々木美香 (盛岡医療センター)
11:35～11:55	一般演題 III 座長：長島 広相 (岩手医科大学)
12:00～13:00	教育セミナー 2 司会：山田武千代 (秋田大学) 演者：荻野枝里子 (おぎのクリニック京都駅前) / 三浦 克志 (宮城県立こども病院) 共催：サノフィ株式会社 / リジェネロン・ジャパン株式会社
13:05～13:30	教育講演 I 司会：高畑 淳子 (弘前大学) 演者：太田 伸男 (東北医科薬科大学)
13:30～14:10	一般演題 IV 座長：井上 純人 (山形大学) / 森本 武史 (青森県立中央病院)
14:15～14:40	教育講演 II 司会：藤野 直也 (東北大学病院) 演者：斎藤 純平 (福島県立医科大学)
14:40～15:20	一般演題 V 座長：中村 豊 (東北医科薬科大学) / 山田 俊樹 (秋田大学)
15:25～16:25	教育セミナー 3 司会：千葉 剛史 (ちば小児科アレルギークリニック) 演者：千葉 貴人 (せんのは皮ふ科アレルギークリニック) 共催：鳥居薬品株式会社
16:30～	表彰式 閉会式 会長挨拶
15:20～	ワインのタベ

【 特別プログラム 】

特別講演

司会：三浦 克志 先生（宮城県立こども病院 アレルギー科）

小児アトピー性皮膚炎と食物アレルギー

オンライン登壇 / 伊藤 浩明 先生（あいち小児保健医療総合センター）

教育講演Ⅰ

司会：高畑 淳子 先生（弘前大学大学院医学研究科 耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座）

難治性好酸球炎症性疾患のインパクト

太田 伸男 先生（東北医科薬科大学 耳鼻咽喉科）

教育講演Ⅱ

司会：藤野 直也 先生（東北大学病院 呼吸器内科）

慢性咳嗽の観点から考えるアレルギー疾患へのアプローチ

斎藤 純平 先生（福島県立医科大学医学部 呼吸器内科）

教育セミナー1

司会：中山 勝敏 先生（秋田大学大学院医学系研究科 呼吸器内科学講座 教授）

共催：アストラゼネカ株式会社

Key points for the use of benralizumab in EGPA

糸賀 正道 先生（弘前大学大学院医学研究科 臨床検査医学講座 講師）

教育セミナー2

司会：山田武千代 先生（秋田大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座 教授）

共催：サノフィ株式会社、リジェネロン・ジャパン株式会社

嗅覚と喘息をキーポイントとした鼻茸を伴う慢性副鼻腔炎の治療

荻野枝里子 先生（おぎのクリニック京都駅前 院長）

小児アトピー性皮膚炎治療のアップデート

三浦 克志 先生（宮城県立こども病院 アレルギー科科長兼総合診療科科長）

教育セミナー3

司会：千葉 剛史 先生（ちば小児科アレルギークリニック 院長）

共催：第7回日本アレルギー学会東北地方会、鳥居薬品株式会社

セラミドの視点から見るアトピー性皮膚炎～タピナロフとバリア機能～

千葉 貴人 先生（せんのは皮ふ科アレルギークリニック 院長）

第7回日本アレルギー学会東北地方会 教育セミナー

開催日時

2025年11月30日(日) 9:00～9:45

会場

にぎわい交流館AU

プログラム

Key points for the use of benralizumab in EGPA

司会 中山 勝敏先生

秋田大学大学院医学系研究科 呼吸器内科学講座 教授

演者 糸賀 正道先生

弘前大学大学院医学研究科 臨床検査医学講座 講師

共催 第7回日本アレルギー学会東北地方会
アストラゼネカ株式会社



第7回日本アレルギー学会東北地方会 教育セミナー



日時 2025年11月30日（日） 12:00～13:00

会場 秋田市にぎわい交流館AU 秋田県秋田市中通1-4-1

司会

山田 武千代 先生

秋田大学大学院医学系研究科

耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座 教授

演者①
12:00～
12:30

荻野 枝里子 先生

おぎのクリニック京都駅前 院長

「嗅覚と喘息をキーポイントとした鼻茸を伴う慢性副鼻腔炎の治療」

演者②
12:30～
13:00

三浦 克志 先生

宮城県立こども病院 アレルギー科科長兼総合診療科科長

「小児アトピー性皮膚炎治療のアップデート」

<個人情報の取り扱いについて>

ご提供頂きました個人情報については、リジェネロン・ジャパン株式会社の運営するウェブサイトに掲載しておりますプライバシーポリシーに基づき適切に管理いたします。これらの個人情報は、弊社において、本会へのご参加の記録、及びフォローアップ等の目的で利用させていただきます。なお、プライバシーポリシーに掲げるコ・プロモーション等の業務提携先企業との間で共同して利用させて頂くことがあります。

共催：日本アレルギー学会 東北地方会

サノフィ株式会社/リジェネロン・ジャパン株式会社

Regeneron - Internal

第7回日本アレルギー学会東北地方会 教育セミナーⅢ

日時：2025年**11**月**30**日(日) 15:25～16:25

会場：秋田市にぎわい交流館AU 3階多目的ホール
秋田県秋田市中通1丁目4-1

教育セミナーⅢ

15:25～16:25

セラミドの視点から見るアトピー性皮膚炎 ～ タピナロフとバリア機能 ～

司会

千葉 剛史

先生 ちば小児科アレルギークリニック 院長

演者

千葉 貴人

先生 せんのは皮膚科アレルギークリニック 院長

共催：第7回日本アレルギー学会東北地方会/鳥居薬品株式会社

抄録集

一般演題Ⅰ アレルギー病態の基礎研究

座長：竹田 正秀（秋田大学大学院医学系研究科 呼吸器内科学講座）

Ⅰ-1 好酸球の核分葉の誘導因子に関する検討

廣瀬奈々子¹⁾、肥塚慶之助¹⁾、渡部 健²⁾、嵯峨重希子¹⁾、守時 由起¹⁾、植木 重治¹⁾

1) 秋田大学大学院医学系研究科 総合診療・検査診断学講座、 2) 市立角館総合病院 総合診療科

好酸球の核分葉のメカニズムを検討するために、健常ドナー由来好酸球を気道上皮細胞（NCI）や血管内皮細胞（HUVEC）と共培養し、IL-5やレチノイン酸を加えて好酸球の核分葉数を解析した。NCIとの共培養ではIL-5やレチノイン酸の有無に関わらず過分葉の割合が有意に増加したが、HUVECとの共培養ではいずれも有意な増加は見られなかった。このことから細胞の環境によって分葉の進行が変化する可能性がある。

Ⅰ-2 気道アレルギー炎症におけるILC2訓練免疫現象

遠藤天太郎¹⁾、山田武千代¹⁾、海老原 敬²⁾

1) 秋田大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座、 2) 秋田大学大学院医学系研究科 微生物学講座

2型自然リンパ球（Group 2 innate lymphoid cells: ILC2）は、Th2細胞と同様のサイトカイン（IL-5やIL-13など）を産生する組織常在性の細胞であり、アレルギー炎症に寄与する。一度活性化したILC2は、二次アレルギー炎症に対し高い応答性を示す。この現象は「訓練免疫現象」と呼ばれる。今回我々は、マウスを用いた動物実験により訓練免疫現象について検討を行った。

一般演題Ⅱ 食物アレルギーの病態

座長：佐々木美香（国立病院機構 盛岡医療センター）

Ⅱ-3 食物経口負荷試験を行い食事制限を解除した成人の3例：負荷試験と栄養指導の重要性

佐々木美香¹⁾、佐々木朋子¹⁾、村里 智子²⁾

1) 国立病院機構盛岡医療センター 小児科、 2) 国立病院機構盛岡医療センター 栄養管理室

自覚症状や血液検査から食物アレルギーが疑われ、多食物に対し制限を指示されていた成人女性3例（44歳：香料過敏症、41歳：喘息、57歳：乳がん）に経口負荷試験を行った。2例に葉酸とビタミンB12の欠乏がみられた。実施前後にアレルギーエデュケーター（管理栄養士）が栄養指導を行った。負荷試験では全例に症状はなく食事制限を解除した。成人でも不要な食事制限を避けるため、負荷試験の実施と栄養指導が重要である。

Ⅱ-4 複数の魚介類による食物蛋白誘発胃腸症を発症し食物負荷試験で診断した一例

佐藤 大記¹⁾、山村菜絵子¹⁾、田澤 星一¹⁾

1) 仙台赤十字病院 小児科

2歳女児。メカジキを摂取したあとに反復嘔吐するエピソードを繰り返し、当院での精査時にはプリックテスト陽性、リンパ球刺激試験にてS.I.は2.5と高値、食物経口負荷試験では摂取2時間後の頻回嘔吐を認めた。その後、タラ、イカを摂取後の反復嘔吐も経験し、いずれも負荷試験陽性であった。複数魚介類による食物蛋白誘発胃腸症と考えられた。本邦における食物蛋白誘発胃腸症の原因食物の変遷について考察する。

一般演題Ⅲ 抗体製剤の影響

座長：長島 広相（岩手医科大学附属病院 呼吸器内科）

Ⅲ-5 免疫チェックポイント阻害薬関連irAEとして発症した慢性好酸球性肺炎の一例

鈴木 康仁¹⁾、齋藤 純平¹⁾、久保田 叡²⁾、池田 雅一²⁾、力丸 真美¹⁾、山田 龍輝¹⁾、
富田ひかる¹⁾、渡邊 菜摘¹⁾、東川 隆一¹⁾、佐藤 佑樹¹⁾、二階堂雄文¹⁾、金沢 賢也¹⁾、
谷野 功典¹⁾、室野 重之²⁾、柴田 陽光¹⁾

1) 福島県立医科大学 呼吸器内科学講座、 2) 福島県立医科大学 耳鼻咽喉科学講座

症例は50歳男性。下咽頭癌に対してペムブロリズマブによる治療中に咳嗽が出現した。血中好酸球数やFeNOの上昇、CT検査ですりガラス影を認め、精査の結果、慢性好酸球性肺炎（CEP）と診断した。ステロイド治療により改善し、ペムブロリズマブを再開後もCEPの再燃は認めずに経過した。免疫チェックポイント阻害薬（ICI）によるCEPは適切な治療とモニタリングにより管理可能で、ICIを継続できる可能性がある。

Ⅲ-6 当科にて経験した好酸球性副鼻腔炎にDupilumab投与後に好酸球性多発血管炎性肉芽腫症となった一例

田口 健太¹⁾、佐藤 克海¹⁾、佐藤 輝幸¹⁾、山崎 宗治¹⁾、太田 伸男¹⁾、北沢 博²⁾、
中村 豊²⁾、池田 高治²⁾、高橋 秀肇²⁾、大野 勲²⁾

1) 東北医科薬科大学病院耳鼻咽喉科、 2) 東北医科薬科大学病院アレルギーセンター

この度好酸球性副鼻腔炎に対してDupilumab投与後にEGPAを発症した一例を経験したので文献的考察も加えて報告する。初回投与後の夜に腹痛などの副作用を認め、2回目を投与した2週間後にも下肢しびれなどが出現し胸部CTにて気管支壁の肥厚、気管支血管束に沿う間質性陰影があり、末梢血好酸球73%と著明な上昇を認めEGPAの診断となった。投薬を中止しステロイドパルスと免疫グロブリン静注療法で寛解した。

一般演題Ⅳ アレルギー疾患の病態と対策

座長：井上 純人（山形大学医学部附属病院 第一内科）
森本 武史（青森県立中央病院 呼吸器内科）

Ⅳ-7 弘前市におけるスギ花粉飛散数の検討

三浦 峻¹⁾、高畑 淳子¹⁾、野村 彩美¹⁾、松原 篤¹⁾

1) 弘前大学大学院医学研究科耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座

【緒言】スギ花粉症の患者数は増加の一途である。花粉の飛散数の増加が一因であると考え、青森県弘前市におけるスギ花粉の飛散状況の変化を検討した。【方法・結果】ダラム型捕集器での計測を行った。春季飛散数は近年著増しており、従来ほぼ観測されなかった秋季飛散も、2016年の1個から2024年には計6個へと増加が確認された。【結論】適切な花粉情報の発信が重要であり、今後も計測を継続していく。

Ⅳ-8 当院呼吸器内科入院中に、アナフィラキシーを発症した症例の検討

佐藤 建人¹⁾、板坂 脩平¹⁾、菅野 悠太¹⁾、久米 壮亮¹⁾、名和 祥江¹⁾、福島 茂之¹⁾、
結城 嘉彦¹⁾、古山 広大¹⁾、小林 真紀¹⁾、中野 寛之¹⁾、根本 貴子¹⁾、西脇 道子¹⁾、
五十嵐 朗¹⁾、井上 純人¹⁾

1) 山形大学医学部附属病院 第一内科

2016～2025年に当科呼吸器内科へ入院した患者を対象に、アドレナリン投与を要したアナフィラキシーを調査した。発症は7例で発症率は0.10%、直近3年は毎年1例以上を認めた。原因は抗菌薬2例、抗腫瘍薬4例、CT造影剤1例で、多くは病室内で発症した。入院中のアナフィラキシーは一定頻度で発生しており、救急対応に備えたスタッフ教育と体制整備が重要と考えられた。

IV-9 医学部1年次学生の学業成績とアレルギー性疾患の関係

佐々木雅史¹⁾、有川 智博¹⁾、宮坂 智充¹⁾、穴戸 史¹⁾、豊島かおる¹⁾、山田 和男²⁾、
大河原雄一²⁾、大野 勲¹⁾、中村 豊¹⁾

1) 東北医科薬科大学 医学部 医学教育推進センター、 2) 東北医科薬科大学 医学部 医学科

医学部1年次学生のアレルギー歴や生活環境と前期定期試験のGradePointAverage(GPA)の関係を明らかにすることを目的として調査を実施した。全体の60.5%の学生がアレルギー性疾患を有しており、独居でアレルギーをもつ学生は、もたない学生に比しGPAが有意に低下していた。アレルギー性疾患の罹患状況の把握と生活環境を加味した教育的介入は学業成績向上に寄与する可能性が示唆された。

IV-10 4年間の宮城県アレルギー疾患医療拠点病院相談事業の成果

藤野 直也¹⁾、相澤 洋之¹⁾、堀野 智史²⁾、高橋 隼也³⁾、鈴木 淳⁴⁾、三浦 克志²⁾、
浅野 善英³⁾、香取 幸夫⁴⁾、杉浦 久敏¹⁾

1) 東北大学大学院医学系研究科呼吸器内科学分野、 2) 宮城県立こども病院アレルギー科、
3) 東北大学大学院医学系研究科皮膚科学分野、 4) 東北大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉・頭頸部外科学

【背景・目的】宮城県アレルギー疾患医療拠点病院事業における一般市民からの相談内容を明確にする。【結果】2021～2024年まで43件の相談があった。相談内容として、食物アレルギー(30.2%)、アレルギー全般(16.3%)、薬物過敏症(14.0%)、蕁麻疹(9.3%)であった。【結論】食物・薬剤アレルギー、皮膚疾患に対する地域アレルギー医療資源のニーズの高さが考えられた。

一般演題V 学べる気道疾患

座長：中村 豊（東北医科薬科大学医学教育推進センター）
山田 俊樹（秋田大学大学院医学系研究科 耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座）

V-11 慢性咳嗽にて精査となり閉塞性換気障害を認めた鳥飼病の一例

小田切遥¹⁾、森本 武史¹⁾、中鉢 敬¹⁾、石戸谷美奈¹⁾、三浦 大¹⁾、長谷川幸裕¹⁾

1) 青森県立中央病院 呼吸器内科

65歳男性。慢性咳嗽にて咳喘息として加療も改善なく夜間低酸素あり当科紹介。胸部CTで軽度の気腫化と線維化を認めた。肺機能は軽度閉塞性換気障害と高度拡散能低下を認めた。鳥特異的IgG高値で曝露歴あり鳥飼病合併が疑われた。BALとTBLC施行し慢性線維性過敏性肺臓炎と診断した。入院とステロイド導入にて改善ありも自宅退院後に再悪化。自宅からの隔離が必要と判断し遠方の別宅に転居した。考察を加えて報告する。

V-12 血清沈降抗体検査でAcremonium陽性を伴った非線維性過敏性肺炎の一例

坂本 祥¹⁾、五島 哲¹⁾、滝田 友里¹⁾、泉谷 有可¹⁾、奥田 佑道¹⁾、竹田 正秀¹⁾、
佐藤 一洋¹⁾、中山 勝敏¹⁾

1) 秋田大学医学系研究科吸器内科学講座

48歳、男性。築50年の住宅に母親と同居。1ヶ月前からの発熱、労作時息切れが悪化し受診した。両肺に汎小葉性粒状影があり非線維性過敏性肺炎が疑われ入院した。速やかに改善し退院後は独居となった。元の自宅にいた母親とのドライブ後に病勢が悪化し、何らかの環境誘発による再燃を疑った。血清沈降抗体検査でAcremoniumが陽性であった。本症例は環境誘発の経過として非典型であり報告する。

V-13 非特異性間質性肺炎の病理組織像を呈した柴朴湯による薬剤性肺障害の一例

片桐 紘¹⁾、千葉 祐胤¹⁾、菖蒲澤大樹¹⁾、八鍬 一博¹⁾、大浦慎之介¹⁾、
堀井 洋祐¹⁾、内海 裕¹⁾、秋山 真親¹⁾、長島 広相¹⁾、川田 一郎¹⁾

1) 岩手医科大学内科学講座呼吸器内科分野

症例は45歳女性。既往歴に特記事項はない。X年1月に柴朴湯が開始されて1か月後に発熱が出現し、柴朴湯は中止となったが発熱が続いて当院へ紹介となった。CTで両側肺にすりガラス影が散見され、入院になった。抗菌薬を開始後も微熱は続き、経気管支肺生検で非特異性間質性肺炎を確認した。薬剤リンパ球刺激試験で柴朴湯が陽性であり、経過から柴朴湯による薬剤性肺障害と診断した。病理組織学的検討を含めて報告する。

V-14 好酸球性血管浮腫の臨床的特徴とマイコプラズマ感染症との関連

高橋 琴乃¹⁾、藤岡 優樹¹⁾、引地 悠¹⁾、長谷川 諒¹⁾、嵯峨亜希子¹⁾、
肥塚慶之助¹⁾、嵯峨 知生¹⁾、守時 由起¹⁾、植木 重治¹⁾

1) 秋田大学大学院医学系研究科 総合診療・検査診断学講座

本県の症例12例と文献の症例報告70例を合わせると52.2%が9～12月に発症しており、既報の通り秋～初冬にかけての発症が多かった。本県のマイコプラズマ感染症の疫学データと診断例は時期的に一致する例が多く見られ、発症に季節性がある理由として、マイコプラズマなどの先行感染症が影響している可能性が考えられる。好酸球性血管浮腫の病態をより明らかにするために、大規模な疫学的大規模な疫学的および免疫学的研究が必要である。

協賛企業名、各社御芳名

この度の第 7 回日本アレルギー学会東北地方会開催にあたり、下記の企業、団体の皆さまから協賛金、広告掲載等のご支援を承りました。この場をお借りしまして心より御礼申し上げます。

● 共 催 ●

アストラゼネカ株式会社

サノフィ株式会社

鳥居薬品株式会社

リジェネロン・ジャパン株式会社

● 広 告 ●

浅野耳鼻いんこう科医院

株式会社秋田医科器械店

株式会社いわしや

株式会社モリタ製作所

杏林製薬株式会社

グラクソ・スミスクライン株式会社

耳鼻咽喉科おのぼ能登医院

耳鼻咽喉科まきなえクリニック

セオリアファーマ株式会社

永島医科器械株式会社

MeijiSeikaファルマ株式会社

メドエルジャパン株式会社

楽天メディカル株式会社

(50 音順)

Thinking ahead. Focused on life.



AURIST RX50

オウリストRX50 / オウリストチェアー RX50



Friendly Design for All

診療空間の空気をクリーンに保つセントラルパイピングシステムなど衛生管理を追及し、人間工学に基づいた機能とデザインを実現した、耳鼻咽喉科診療ユニット「オウリスト」シリーズ。「人が中心」というコンセプトはそのままに、ドクター、アシスタント、患者さん、すべての人にやさしい空間を目指して、より洗練された「オウリストRX50」をご提案。快適な診療空間づくりに貢献します。

株式会社 モリタ製作所 京都府京都市伏見区東浜南町680番地 〒612-8533 TEL 075-605-2323 FAX 075-605-2355 e-mail : jm-med@jmorita-mfg.co.jp
営業所：東京オフィス 阪神オフィス 埼玉営業所 名古屋営業所 九州営業所
販売名：オウリストRX50 一般的名称：耳鼻咽喉科用治療ユニット 機器の分類：管理医療機器（クラスⅡ） 認証番号：230AKBZX00023000
販売名：オウリストチェアー RX50 一般的名称：汎用診療・処置台 機器の分類：一般医療機器（クラスⅠ） 特定保守管理医療機器 認証番号：11B2X00071000050



オウリスト製品情報



オウリストチェアー
製品情報

鼻茸を伴う慢性副鼻腔炎 (既存治療で効果不十分な患者に限る)^{注)} に適応があります

～ヌーカラ皮下注100mgペン、シリンジは
在宅自己注射の対象薬剤です～

注) 最適使用推進ガイドライン対象

NUCALA
mepolizumab

2. 禁忌(次の患者には投与しないこと) 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

4. 効能又は効果

100mgペン、100mgシリンジ

- 気管支喘息(既存治療によっても喘息症状をコントロールできない難治の患者に限る)
- 既存治療で効果不十分な好酸球性多発血管炎性肉芽腫症
- 鼻茸を伴う慢性副鼻腔炎(既存治療で効果不十分な患者に限る)^{注)}

注) 最適使用推進ガイドライン対象

5. 効能又は効果に関連する注意

〈気管支喘息〉

5.1 高用量の吸入ステロイド薬とその他の長期管理薬を併用しても、全身性ステロイド薬の投与等が必要な喘息増悪をきたす患者に本剤を追加して投与すること。

5.2 投与前の血中好酸球数が多いほど本剤の気管支喘息増悪発現に対する抑制効果が大きい傾向が認められている。また、データは限られているが、投与前の血中好酸球数が少ない患者では、十分な気管支喘息増悪抑制効果が得られない可能性がある。本剤の作用機序及び臨床試験で認められた投与前の血中好酸球数と有効性の関係を十分に理解し、患者の血中好酸球数を考慮した上で、適応患者の選択を行うこと。[17.1.1、17.1.2 参照]

5.3 本剤は既に起きている気管支喘息の発作や症状を速やかに軽減する薬剤ではないので、急性の発作に対しては使用しないこと。

〈好酸球性多発血管炎性肉芽腫症〉

5.4 過去の治療において、全身性ステロイド薬による適切な治療を行っても、効果不十分な場合に、本剤を上乗せして投与を開始すること。

〈鼻茸を伴う慢性副鼻腔炎〉

5.5 本剤は全身性ステロイド薬、手術等ではコントロールが不十分な患者に用いること。[17.1.4 参照]

6. 用法及び用量

100mgペン、100mgシリンジ

〈気管支喘息〉

通常、成人及び12歳以上の小児にはメポリズマブ(遺伝子組換え)として1回100mgを4週間ごとに皮下に注射する。

〈好酸球性多発血管炎性肉芽腫症〉

通常、成人にはメポリズマブ(遺伝子組換え)として1回300mgを4週間ごとに皮下に注射する。

〈鼻茸を伴う慢性副鼻腔炎〉

通常、成人にはメポリズマブ(遺伝子組換え)として1回100mgを4週間ごとに皮下に注射する。

7. 用法及び用量に関連する注意

〈好酸球性多発血管炎性肉芽腫症〉

7.1 本剤とシクロホスファミドを併用投与した場合の安全性は確認されていない。[17.1.3 参照]

〈鼻茸を伴う慢性副鼻腔炎〉

7.2 本剤による治療反応は、通常投与開始から24週までには得られる。24週までに治療反応が得られない場合は、漫然と投与を続けないよう注意すること。

8. 重要な基本的注意

8.1 本剤の投与は、適応疾患の治療に精通している医師のもとで行うこと。

8.2 本剤はヒトインターロイキン-5(IL-5)と結合し、IL-5の機能を阻害することにより血中好酸球数を減少させる。好酸球は一部の寄生虫(蠕虫)感染に対する免疫応答に関与している可能性がある。患者が本剤投与中に蠕虫類に感染し、抗蠕虫薬による治療が無効な場合には、本剤投与の一時中止を考慮すること。[9.1.1 参照]

8.3 長期ステロイド療法を受けている患者において、本剤投与開始後にステロイド薬を急に中止しないこと。ステロイド薬の減量が必要な場合には、医師の管理下で徐々に行うこと。

8.4 本剤の投与期間中に喘息に関連した事象及び喘息の悪化が現れることがある。本剤の投与開始後に喘息症状がコントロール不良であったり、悪化した場合には、医師の診察を受けるよう患者に指導すること。

8.5 本剤の投与によって合併する他の好酸球関連疾患の症状が変化する可能性があり、当該好酸球関連疾患に対する適切な治療を怠った場合、症状が急激に悪化し、喘息等では死亡に至るおそれもある。本剤の投与中止後の疾患管理も含めて、本剤投与中から、合併する好酸球関連疾患を担当する医師と適切に連携すること。患者に対して、医師の指示なく、それらの疾患に対する治療内容を変更しないよう指導すること。

8.6 本剤の投与開始にあたっては、医療施設において、必ず医師によるか、医師の直接の監督の下で投与を行うこと。自己投与の適用については、医師がその妥当性を慎重に検討し、十分な教育訓練を実施した後、本剤投与による危険性と対処法について患者又はその保護者が理解し、患者又はその保護者自ら確実に投与できることを確認した上で、医師の管理指導の下で実施すること。自己投与の適用後、本剤による副作用が疑われる場合や自己投与の継続が困難な状況となる可能性がある場合には、直ちに自己投与を中止し医療施設に連絡するよう患者又はその保護者に指導し、医師の管理下で慎重に観察するなど適切な処置を行うこと。また、使用済みの注射器を再使用しないよう患者又はその保護者に注意を促し、安全な廃棄方法について指導すること。

9. 特定の背景を有する患者に関する注意

9.1 合併症・既往歴等のある患者

9.1.1 蠕虫類に感染している患者

本剤投与開始前に蠕虫感染を治療すること。[8.2 参照]

9.5 妊婦

妊婦又は妊娠している可能性のある女性には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。サルではメポリズマブが胎盤を通過することが報告されている。

9.6 授乳婦

治療上の有益性及び母乳栄養の有益性を考慮し、授乳の継続又は中止を検討すること。サルではメポリズマブが乳汁中へわずかに移行することが報告されている。

9.7 小児等

〈気管支喘息〉

9.7.1 6歳未満の小児等を対象とした臨床試験は実施していない。

〈好酸球性多発血管炎性肉芽腫症、鼻茸を伴う慢性副鼻腔炎〉

9.7.2 小児等を対象とした臨床試験は実施していない。

9.8 高齢者

一般に、生理機能が低下している。

11. 副作用

次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

11.1 重大な副作用

アナフィラキシー(頻度不明)

11.2 その他の副作用

	5%以上	1%以上5%未満	1%未満
過敏症		過敏症反応(蕁麻疹、血管性浮腫、発疹、気管支痙攣、低血圧)	
感染症			下気道感染症、咽頭炎、尿路感染
精神神経系	頭痛		
呼吸器			鼻閉
胃腸障害			上腹部痛
皮膚			湿疹
筋骨格系			背部痛
全身障害			発熱
投与部位	注射部位反応(疼痛、紅斑、腫脹、そう痒、灼熱感)		

14. 適用上の注意

14.1 薬剤交付時の注意

患者又はその保護者には本剤に添付の使用説明書を渡し、使用方法を指導すること。

14.2 薬剤投与前の注意

14.2.1 投与前に室温で最低30分放置する。

14.2.2 開封後、8時間以内に投与する。8時間以内に投与しなかった場合は廃棄すること。

14.3 薬剤投与時の注意

〈効能共通〉

14.3.1 注射部位は上腕部、大腿部又は腹部とすること。

14.3.2 本剤は1回使用の製剤であり、1回に全量を使用し再使用しないこと。使用後は針が格納されるため、分解しないこと。

〈好酸球性多発血管炎性肉芽腫症〉

14.3.3 100mgずつ3カ所に分けて投与し、各注射部位は5cm以上離すこと。

21. 承認条件

医薬品リスク管理計画を策定の上、適切に実施すること。

2024年8月改訂(第6版、効能変更)

詳細は電子添文をご参照ください。電子添文の改訂にご留意ください。

ヒト化抗IL-5モノクローナル抗体

薬価基準収載

生物由来製品 劇薬 処方箋医薬品(注意-医師等の処方箋により使用すること)

ヌーカラ皮下注100mgペン ヌーカラ皮下注100mgシリンジ

NUCALA solution for s.c. injection メポリズマブ(遺伝子組換え)製剤
(一部)最適使用推進ガイドライン対象品目

製造販売元

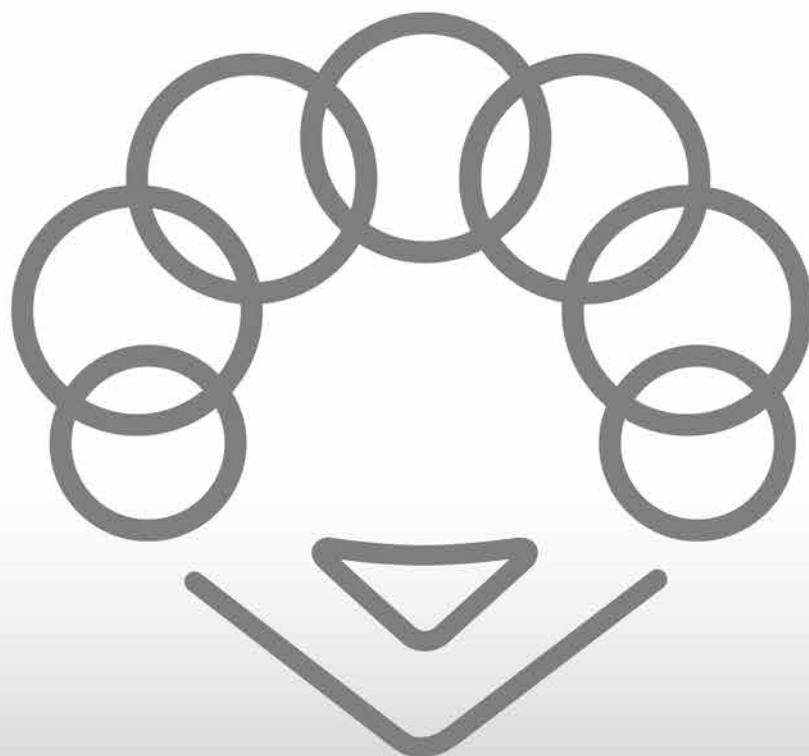
グラクソ・スミスクライン株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂1-8-1

文献請求先及び問い合わせ先
TEL: 0120-561-007(9:00~17:45/土日祝日及び当社休業日を除く)
https://jp.gsll.com

PM-JP-MPL-BNNR-240003 作成年月2024年8月

Love and Hustle for all



耳鼻咽喉科

まきなえクリニック

EAR NOSE THROAT MACKY CLINIC

〈診療ご案内〉

診療受付時間/曜日	月	火	水	木	金	土	日・祝日
8:30~18:00	●	●	●		●		
8:30~11:00				●			×
8:30~13:00						●	

病児保育施設

マミースマイル

SICK CHILD DAY CARE MAMMY SMILE

〈保育ご案内〉

- 保育時間／7:00～19:00
- 保 育 日／月曜日～土曜日
- 休 園 日／日曜日・祝日

<http://makinae-clinic.com>

〒017-0846 大館市常盤木町17-1 TEL0186-42-3341

健康にアイデアを
meiji



アレルギー性疾患治療剤

処方箋医薬品 (注意-医師等の処方箋により使用すること) 薬価基準収載

B ビラノア錠 20mg
OD錠 20mg

Bilanoa® tablets / OD tablets

ピラスチン錠 / ピラスチン口腔内崩壊錠

効能又は効果、用法及び用量、禁忌を含む注意事項等情報等は
電子添文をご確認ください。

販売元 文献請求先及び問い合わせ先
Meiji Seika ファルマ株式会社
東京都中央区京橋 2-4-16
<https://www.meiji-seika-pharma.co.jp/>
くすり相談室 電話 (0120) 093-396, (03) 3273-3539



製造販売元
大鵬薬品工業株式会社
東京都千代田区神田錦町1-27

提携先  **FAES FARMA** スペイン

作成：2023.9

SYNCHRONY2

SYNCHRONY2 は、個々の蝸牛に対応した柔軟な電極アレイ、3.0 テスラに対する条件付 MRI 対応*、ピンによる固定、独立した出力コンデンサなど、SYNCHRONY の包括的なポートフォリオに加え、左右対称の電極リードデザインを備えています。

SYNCHRONY2

電極リードの中央配置

左右対称の中心電極リード配置によりインプラントの設置や手術の取り扱いをシンプル化

S-Vector マグネット

独自の設計により、MRI の安全性*やアーチファクトのサイズに影響を及ぼすことなく磁石の強度を 25% 向上**

個々の蝸牛に合わせた電極選択

10 種類のサイズバリエーションから個々の蝸牛サイズに合わせて電極アレイを選択可能

緑色マーカードット

電極の挿入深度をコントロールしやすくする視認性の高い緑色マーカー

* SYNCHRONY2 を装着された方は、添付文書に記載されている条件に従い 0.2、1.0、1.5、3.0 テスラで MRI 検査を受けることができます。(注：3.0 テスラは SYNCHRONY2 および SYNCHRONY のみ)
** 当社調べ

販売名：メドエル人工内耳 SYNCHRONY2 承認番号：30400BZ100025000

販売名：メドエル人工内耳 SYNCHRONY2 FLEX 承認番号：30400BZ100026000

選任製造販売業者

MED⁹EL

メドエルジャパン株式会社

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-1-20 5階

TEL: 03-5283-7266 (代表) FAX: 03-5283-7265

<https://www.medel.com/ja/>

メドエルジャパン カスタマーサポートダイヤル



さーよいみみ
0120-30-4133

e-mail info@mlj-direct.com

FAX 03-5283-7694

受付時間：平日午前9時～午後5時
(土日祝日、年末年始は休業いたします)

部品購入専用WEBサイト メドエルダイレクト

<http://mlj-direct.com/>



浅野耳鼻いんこう科

— ASANO ENT CLINIC —

<https://www.asanojibika.com>

秋田県由利本荘市表尾崎町 1 7 - 4

TEL 0184-22-5883 FAX 0184-22-7610

信頼の対応力。

医療現場の真剣なまなごしをサポート



株式
会社

秋田医科器械店

●本社／秋田市御所野湯本6丁目2番3 010-1415 Tel.018-839-3551・Fax.018-839-3546
●横手営業所／横手市八幡字八幡32-1 013-0071 Tel.0182-32-8311・Fax.0182-32-8313
●能代営業所／能代市落合字上蓋谷地189 016-0014 Tel.0185-52-0024・Fax.0185-54-7319

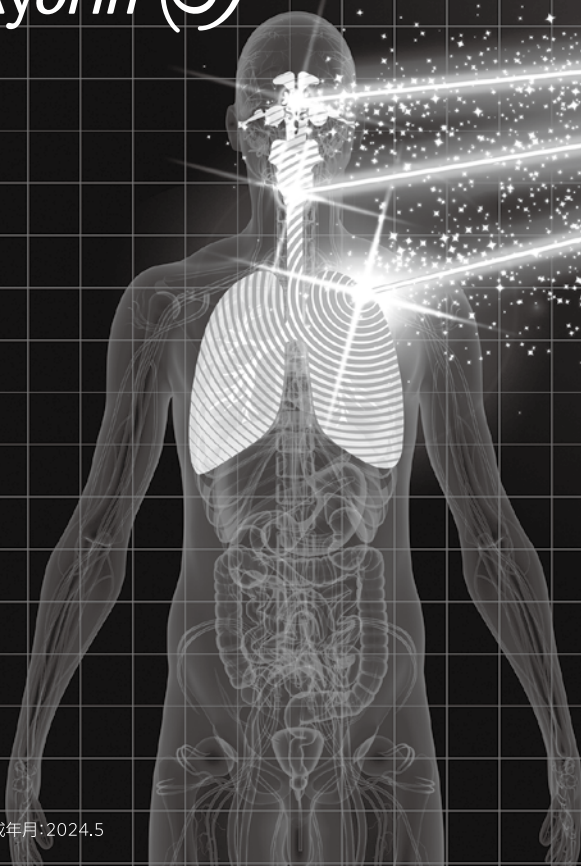
健康社会に奉仕する



医療機器・理化学機器・総合商社
株式会社 **いわしや**
<https://iwasiya.co.jp/>

本社／〒017-0885 秋田県大館市豊町9番46号 TEL 0186-49-1188 FAX 0186-42-5796 秋田支店／〒010-0003 秋田市東通4丁目5番36号 TEL 018-835-9558 FAX 018-835-9562

Kyorin (C)



ニューキノロン系経口抗菌剤 薬価基準収載

処方箋医薬品[※]
ラスクフロキサシン塩酸塩錠



ラスビック[®]錠75mg

Lasvic[®] Tablets 75mg

略号：LSFX

(注) 注意—医師等の処方箋により使用すること

効能又は効果、用法及び用量、禁忌を含む注意事項等情報等については電子添文をご参照ください。

杏林製薬株式会社
東京都千代田区大手町一丁目3番7号
(文献請求先及び問い合わせ先：くすり情報センター)
東京都新宿区左門町20番地

作成年月：2024.5



耳鼻咽喉科 おのば能登医院

(耳鼻咽喉科学会認定 耳鼻咽喉科専門医)

院長 能登弘毅

診療受付時間	月	火	水	木	金	土
午前9:00～12:30	●	●	13:00 迄	●	●	13:00 迄
午後3:00～6:00	●	●		●	●	



休診日:日曜・祝日

- *初めてのの方も8:30～電話で予約ができます
- *電話で受診時間の確認ができます
- *ホームページからネット予約ができます⇒



〒010-1423

秋田市仁井田字中新田66-1

TEL.018-892-6622

FAX.018-892-6601

CEOLIA

減感作療法薬 (アレルゲン免疫療法薬)

アシテア[®] ダニ舌下錠

100単位 (IR) / 300単位 (IR)

Actair

処方箋医薬品^(注)

注) 注意-医師等の処方箋により使用すること

薬価基準収載



※効能又は効果、用法及び用量、警告・禁忌を含む注意事項等情報等については、電子化された添付文書をご参照ください。



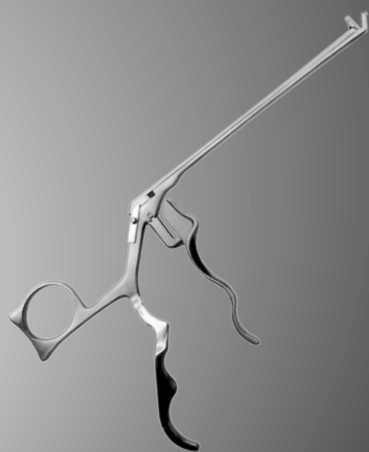
製造販売元 [文献請求先及び問い合わせ先]
塩野義製薬株式会社
大阪市中央区道修町3-1-8
医薬情報センター TEL 0120-956-734

お問い合わせ先



セオリアファーマ株式会社 メディカルインフォメーション室
〒103-0022 東京都中央区日本橋室町三丁目3番1号
TEL 0120-72-1136 (フリーコール 9:00～17:00 / 土・日・祭日は除く)

2025年9月作成
ACT 2-09.1_202509



O.M.R. Handle®

Optimal Multi Rational Handle

手術をより思い通りに 自由に
多様な手術スタイルに対応

■ 実事情報

販売名	O.M.R. Handle 鉗子
届出番号	13B1X00138CH0417
一般名	はさみ
リスク分類	一般医療機器
特定保守管理医療機器該当性の有無	非該当
設置管理医療機器該当性の有無	非該当

販売名	O.M.R. Handle 鉗子
届出番号	13B1X00138CH0416
一般名	可変型鉗子
リスク分類	一般医療機器
特定保守管理医療機器該当性の有無	非該当
設置管理医療機器該当性の有無	非該当



NAGASHIMA MEDICAL INSTRUMENTS CO., LTD.

524-1 HONGO BUNKYO-KU TOKYO 113-0033 JAPAN TEL. 03-3812-1271 FAX 03-3812-1323
URL: <https://www.ent1910.jp>

NAGINATA®

鼻科手術・頭蓋底手術に適した
新しい形状のゴルフ剥離子



■ 実事情報

販売名	頭蓋曲がリゴルフ剥離子 NAGINATA
届出番号	13B1X00138TNK407
一般名	剥離子
リスク分類	一般医療機器
特定保守管理医療機器該当性の有無	非該当
設置管理医療機器該当性の有無	非該当

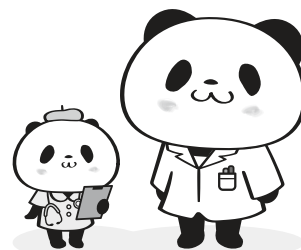
楽天メディカル会員限定コンテンツ

ウェブサイト会員登録のメリット

メリット 1 頭頸部アルミノックス治療の **最新情報** を
動画で視聴!

メリット 2 参加できなかった **主催・共催セミナー** の
動画が視聴できる!

メリット 3 頭頸部アルミノックス治療の最新情報を
メールで受け取れる!



©Rakuten Group, Inc.

会員登録はこちら

二次元コードまたは下記URLから登録ページにアクセスできます。
<https://hcp.rakuten-med.jp/member-request/>



Rakuten Medical
ガン克服。生きる。
CONQUERING Cancer.

AKH0047AD0001